

《JICA だより》

## 2つの研究プロジェクト発足

林 久 晴

59年10月から12月の間に、新たに2つの林業関係の技術協力プロジェクトが発足した。

その1つは、中国黒龍江省木材総合利用研究プロジェクトであり、もう1つはインドネシア熱帯降雨林研究プロジェクトである。いずれも研究プロジェクトであるが、これで林業関係の技術協力プロジェクトは9つとなる。

また、中国での技術協力プロジェクトは最初であり、インドネシアでのそれは、ジャワ山岳林収穫技術協力プロジェクト(昭和57年に終了)、南スマトラ森林造成プロジェクト(現在実施中)に次いで3つ目のプロジェクトである。

今回は、新しく発足したこの2つのプロジェクトの概要についてごく簡単に紹介したい。

### 1. 中国黒龍江省木材総合利用研究プロジェクト

#### (1) 背景と目的

中国の木材生産は、東北地域を主体に行われており、その中心的な位置にあるのが黒龍江省である。このため、同省における林業経営の発展と木材利用技術の向上は国家的最重点事項として位置付けられているが、同省の木材利用に係る技術並びに研究体制は必ずしも十分とは云えない状況にある。

このため、中国政府は、我が国に対して木材の総合的な利用技術の向上を図るため、技術協力を要請越して来たもので、本研究プロジェクトは、このような背景をもとに、黒龍江省において製材から集成材等に及ぶ木材の総合的な利用技術の開発並びに人材の育成を図ることを主目的として実施されるものである。

#### (2) 主な協力内容

本プロジェクトの協力期間は、59年10月から5カ年間である。

技術協力の分野は(次表)のとおり定められている。

以上の分野における研究協力を推進するため、協力期間中我が国は専門家を中国に派遣するとともに、中国側の技術者を日本に招いて国内研究機関等で研修を行うは

---

HAYASHI, Hisaharu: Two Research Projects Start

国際協力事業団林業水産開発協力部

## 技 術 協 力 の 分 野

分 野	内 容
製 材	製材工場の製材品の品質向上ならびに原木歩止りの向上、労働生産性の改善を図る。
パーティクルボード	家具材料を目標とした残廃材利用によるパーティクルボードの製造基準並びにその家具利用への指針を確立する。
木 材 材 料 性 能	地域産樹種の品質を確認し、利用に対する材料適性を把握し、カラマツなど樹種の使用範囲の拡大、品質改良に対する指針を確立する。
複 合 材	小径材を集成手法により品質を改良し、有効利用を図る。
木 材 乾 燥	木材の有効利用と歩止り向上を図るため乾燥技術を改善する。
接 着 ・ 塗 装	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 天然接着剤の製造技術を開発するとともに、地域産材の接着性を明らかにする。</li> <li>2. 家具表面仕上げの改善を図るとともに地域産材の塗装性を明らかにする。</li> </ol>

か、研究推進に必要な機械（5年間で約5億円）を中国側に供与することを予定している。

本研究プロジェクトの具体的な推進は林業試験場及び北海道林産試験場等の全面的な御協力によって行われることになっており、すでに2名の方が短期専門家として現在中国において指導に当たっている。

## 2. インドネシア熱帯降雨林研究プロジェクト

### (1) 背景と目的

熱帯降雨林の森林造成は、インドネシアのみならず熱帯地域のいずれの国においても緊急かつきわめて重要な課題となっている。

このような中で、インドネシアにおいては、熱帯降雨林の造林に強い熱意を持ち、その研究のため我が国に対して協力を要請してきた。これに対して我が国は、昭和56年インドネシアに対し、熱帯降雨林造林研究の拠点とするため、無償資金協力として総額15億円をかけて、東カリマンタンのサマリダのムラワルマン大学に熱帯降雨林造林研究センターを設立した。その後、インドネシア政府は、この研究センターを活用し、大学教育充実のための国家プロジェクトの一環として熱帯造林のための人材養成を図るべく、更に我が国の技術協力を要請してきた。

このような状況の中で本プロジェクトは、熱帯降雨林に関して天然林から人工林、更にはアグロフォレストリーを含めた幅広い分野において研究協力を行うことを目的として発足したものである。

## (2) 主な協力内容

本プロジェクトの協力期間は、59年12月から5か年間である。

技術協力の分野は、(次表)のとおりである。

分 野	内 容
林 地 利 用	土地利用区分のためのリモートセンシング技術の開発、 林地利用区分等
天 然 林 管 理	熱帯降雨林の森林生態、バイオマス調査及び野生動物 を含む天然林管理等
人 工 林 管 理	熱帯樹種の造林、病虫害、獣害、火災等の防除方法等
地 位 級 区 分	土壌調査及び土壌区分、土壌生産力等
アグロフォレストリー	アグロフォレストリーに関する環境調査、社会経済調 査及びアグロフォレストリー体系の改善等

本プロジェクトについても、研究の推進のため、協力期間中我が国は専門家をインドネシアに派遣するとともに、インドネシア国の技術者養成のため我が国での受入れ研修を実施するほか、研究推進に必要な機材（5年間で約2億5千万円）を供与する予定である。

本プロジェクトの具体的な推進についても林業試験場を中心とした研究機関並びに関係者の御協力によって行われることとされており、早ければ2月にも専門家が派遣される予定である。

## 新刊紹介

◎豊かな降雨林 (W. WEEVERS-CARTER: Riches of the Rain Forest. Oxford University Press, Oxford, New York. 1984. 103 pp.)

自然保護を考える場合、各方面の専門家が活動に携わるだけでなく、一般の人々はその重要性を認め、なおかつ、そこから自然保護の気運が高まることが大切であろう。筆者は、失なわれつつある熱帯降雨林に接し、その損失を憂う者の一人として、少しでも多くの人に豊かな降雨林に興味を持ってもらおうと、本書をかく。

したがって、単に生物学的興味の対象としてだけにとどまらず、現地の人々の生活に即した実用面にまで触れ、熱帯降雨林のもつ多様な魅力をやさしく紹介しようと努めている。ラフレンシアからフタバガキ林まで、いわゆるマレー植物区内に生育する、人目を引く代表的な植物のほとんどが、美しい挿絵とともに、記述されている。

本書は、見知らぬ熱帯降雨林を散策するためのガイドブックであり、よくできた旅行案内書が、旅の楽しみを倍加するように、豊かで不可思議な植物世界により深く親しむための手助けとなるだろう。

(阿部 健一)